

祝 富士山世界遺産登録

ムセイオン静岡 富士山フェスタ2014

静岡県埋蔵文化財センター

「富士山の日」歴史講演会

「参詣曼荼羅にみる中世の富士山信仰」

講師 大高康正氏

(公益財団法人元興寺文化財研究所)

富士宮市村山から眺めた富士山

日時 平成26年2月23日(日)

14:00開演

会場 県立中央図書館 講堂

定員 200人

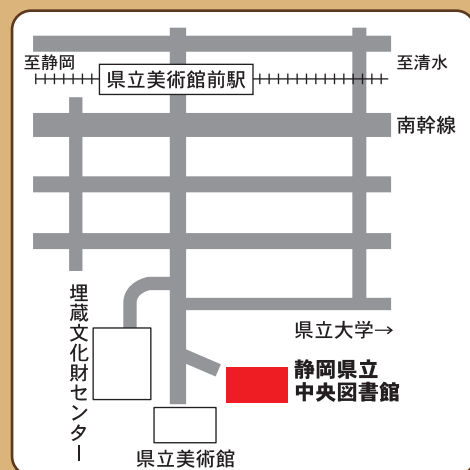
申込不要・入場無料

同時開催イベント

当日、常設展示「古代からの贈り物」の
展示解説を行います。

●会場 県立中央図書館 3階展示室

●時間 13:00～13:50・15:40～16:30



【お問い合わせ先】

静岡県埋蔵文化財センター

静岡市駿河区谷田 23-20

電話 054-262-4261 HP <http://www.smaibun.jp>

講演会趣旨

遙か古より信仰・芸術の対象であった富士山。このほど世界文化遺産に登録された富士山を、私たちは後世に伝えなくてはなりません。また富士山周辺に多くある遺跡は、富士山が育んだ先人たちの足跡であり、郷土の文化を物語るものがあります。

私ども静岡県埋蔵文化財センターでは、富士山をとりまく歴史文化について、歴史学や考古学方面から研究する専門家の方をお招きして、県民の皆様に富士山の文化的景観への関心を深めていただくため、講演会を企画しました。

講演概要

中世における有力寺社では、「参詣曼荼羅（さんけいまんだら）」と呼ばれる絵画を制作している。その曼荼羅には寺社の建造物群が描かれ、聖地たるその寺社の信仰の有様を今日に伝えている。富士山にかかる参詣曼荼羅として国指定重要文化財の『絹本著色富士曼荼羅図（けんぼんちやくしよくふじまんだらず）』等が知られるが、今回の講演では参詣曼荼羅からみた富士山の信仰について考えていきたい。



富士山本宮浅間大社蔵
『絹本著色富士曼荼羅図』



講師略歴

大高 康正(おおたか やすまさ)氏

昭和48年静岡県生まれ。

平成20年帝塚山大学大学院人文科学研究科日本伝統文化専攻(中世史)博士後期課程修了(学術博士)。

現在、公益財団法人元興寺文化財研究所人文科学研究室研究員。

著作には『多賀曼荼羅の世界：絵解き解説』（多賀大社、2012年2月）

『参詣曼荼羅の研究』（岩田書院、2012年9月）

『富士山信仰と修験道』（岩田書院、2013年12月）がある。

静岡県埋蔵文化財センターからのお知らせ

1 静岡県埋蔵文化財センター常設展

「古代からの贈り物」 静岡県立中央図書館にて好評開催中!!

静岡県内各地で出土した旧石器時代から戦国時代にいたる遺物を展示。

ふじのくに静岡を語る貴重な資料を是非ご覧ください。

★静岡県立沼津東高等学校放送部による音声ガイドも大人気です。

2 静岡県埋蔵文化財センター巡回展

「白鳳の甕(はくほうのいらか)

～浜松市篠場瓦窯(しのんばがよう)出土品展～」

ついに静岡市立登呂博物館でも開催決定!!

★会期は平成26年1月25日(土)～3月9日(日)です。



廣
山

篠場瓦窯出土文字瓦